



牟呂の風

校長室だより
NO. 11
令和6年1月10日
豊橋市立牟呂小学校

今年もよろしくお願ひします

令和6年は大変な幕開けになりました。元日の夕方に起きた、能登半島付近を震源とする地震の被害は、今なおその全貌が明らかではないほど大きなものとなっています。また、被災された方々は、真冬の寒さの中、不自由な避難生活を余儀なくされています。毎日の報道を見る度に、心が痛むと同時に、他人ごとではない……、そんな思いを強くします。

1月9日（火）の3学期始業式では、冒頭、今回の地震で犠牲になった方々のご冥福を祈り、全校児童・教職員で黙とうを行いました。聞けば、低学年から高学年まで、ほとんどの子どもたちが、地震の報道を見ているとのことでした。この地方でも、周期の長い大きな揺れがあり、改めて、子どもたちも地震の怖さを感じたことと思います。怖さを知ったこと、また、地震について多くの情報に接した子どもたちだからこそ、今後の防災教育を意味のあるものにしていかなければならないと思っています。



始業式の校長の話でも、地震のこと、そして2日の羽田空港での衝突事故のことにふれました。特に、羽田の事故では、400人近くの乗客・乗員が、事故発生からわずか18分間に避難し、飛行機は全焼したにもかかわらず、全員無事であったことにふれ、避難訓練の大切さを話しました。まずは「こんな時はこうする」という基本を教えるのですが、「じゃあこういう時はどうしたらいい？」そんな疑問やそれに対する答えを出し合うような時間も必要ではないかと考えています。子どもたちにも、地震とその被害を前にして、今自分たちができることを考えてみるように話しました。これは、自分や教職員に向けた言葉でもあります。

式の最後には、アメリカ大リーグで活躍する大谷選手から届いた「大谷グローブ」のお披露目を体育主任の池田先生から行い、子どもたちからは歓声があがりました。グローブは全学級に回覧した後、休み時間などに自由に使えるようにする予定です。



大谷グローブ（右利き2つ、左利き1つ）

